

# HS-26 / HS-26-230

## ハンダゴテ



### ご使用上の注意

#### 警告

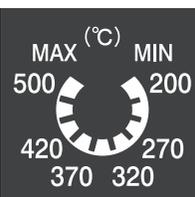
- ・ 電源コードに傷や破損が認められるときは使用しないでください。
- ・ 定格以上の電圧を与えないでください。
- ・ 燃えやすいもの、可燃物の近辺では使用しないでください。
- ・ ビット先端のチューブは開封後廃棄し、使用しないでください。
- ・ 使用後その場を離れるときは、必ず電源プラグを抜いてください。

#### 注意

- ・ 使用時にはコテ台を併用してください。
- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ 使用後は水などで急激に冷まさないでください。
- ・ ビット、ヒーターは当社純正品をお使いください。
- ・ 使用中は換気にご注意ください。

### ご使用方法

温度調整ツマミで希望の温度に設定し、電源プラグをコンセントに接続します。  
設定した温度に達すると、モニターランプが点灯から点滅に変わります。  
点滅を始めたら使用してください。  
本体（温度調整ツマミの裏側一右図）に表示している温度は目安です。  
厳密な温度管理が必要な場合はハンダゴテ温度計にてご確認ください。



▲ 高温注意

## ハンダ付けの方法

- 1 ハンダ付けの箇所は事前にホコリ、サビ、油、酸化皮膜などを除去します。  
ハンダもフラックスリムーバーなどで表面をふいてから使用することをお勧めします。
- 2 接合する両方の物体が均等にハンダが溶ける温度になるまで加熱します。
- 3 ハンダを接合部とビットの重なる点に当てます。
- 4 ハンダがボールのようになってのらないときは、ビットが高温になりすぎているか、表面が酸化皮膜などで汚れています。  
汚れなどを除去し、室温に戻してからやり直してください。
- 5 溶けたハンダがスロープ状に広がったらビットを離し、固まるのを待ちます。
- 6 ハンダゴテの使用後はビットの酸化防止のために、新しいハンダを溶かしてビットのハンダメッキ部を覆ってから、電源を切ります。
- 7 ハンダ付け完了後、ハンダ付けの箇所をフラックスリムーバーなどで洗浄することをお勧めします。

## ビットの交換方法

### ⚠ 注意

ビットの交換は、電源プラグをコンセントから抜き、常温になってからおこなってください。感電ややけどのおそれがあります。

- 1 ナットを緩めて保護パイプを取り外します。
- 2 ビットを交換し、保護パイプを被せてナットを締め込みます。過度に強く締めないでください。

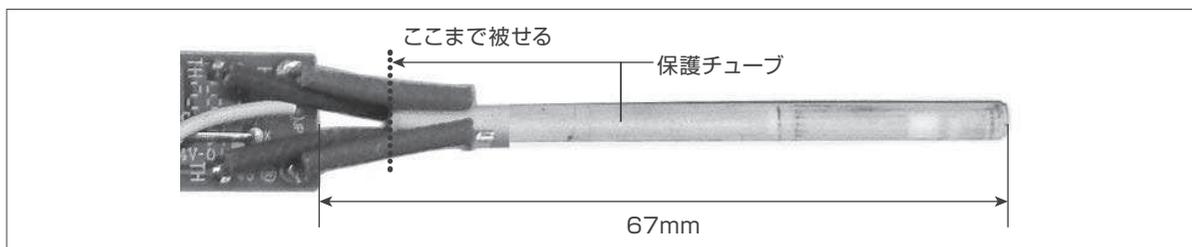


## ヒーターの交換方法

### ⚠ 注意

ヒーターの交換は、電源プラグをコンセントから抜き、常温になってからおこなってください。

- 1 ビット根元の3本のネジと本体の裏側のネジを外し、グリップと基板を分離します。
- 2 断線したヒーターのハンダを溶かして取り外し、下のゲージに合わせて、基板の端からヒーターの先端までの距離が67mmになるように新しいヒーターをハンダ付けします。  
余分のリードは切断してください。保護チューブを被せます。



## ヒーターの交換方法

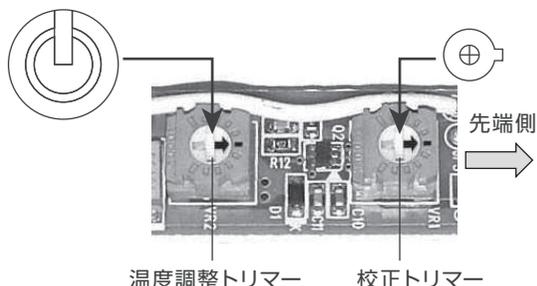
- 3 温度調整ツマミを可動範囲の中央付近にし、元通り組み立てます。

### ⚠ 注意

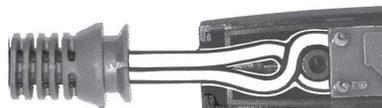
基板からリードが突き出ている場合があるので、指を傷つけないように注意してください。

#### ツマミが外れてしまった場合

温度調整トリマーと校正トリマーを可動範囲の中間の位置（写真上の3時の位置）に合わせます。  
各ツマミを図のように向けた状態でトリマーに被せます。



- 4 電源コードは根元部分で交差させてください。



- 5 各ノブが正常に回せることを確認して、外した各ネジを締めてください。

## 校正方法

ヒーターには固有の抵抗値があり発熱量が異なりますので、ヒーター交換後に校正作業を行う必要があります。温度調整ツマミを通常使用する温度にいちばん近い目盛にセットしてから電源プラグをコンセントに接続し、ハンダゴテ温度計で先端温度を測定しながら校正トリマーを回してその温度に達するように調整します。

## ホーサン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12

製品・補修部品はWebサイトにてご購入いただけます。  
<https://www.hozan.co.jp/>



技術的なお問い合わせ

ホーサン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132 / E-mail : th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日（祝日を除く）の10:30～12:00、13:00～17:00】